

平成25年度事業報告書

平成25年1月1日～平成25年12月31日

特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク

1 事業の成果

昨年に引き続き手のひらに太陽の家プロジェクトや東日本大震災被災地へのペレットストーブ寄贈事業といった被災地支援活動に取り組みつつ、一方で安定した自主財源の獲得のために事業化の基盤を整えた一年となった。

ソフト事業として森林をテーマとしたツアーの実施や企業が社会貢献活動として取り組む森林整備作業のコーディネートを行ったほか、物販事業として組手仕のオンライン販売やペレット燃料の販売、着火剤の商品開発、手のひらに太陽の家チャリティーグッズの販売などに取り組んだ。

新たに島根支部（株式会社太陽の店）が加わり、全国13支部体制となった。普及啓発活動も会員や協力団体と連携することでより広がりや厚みを増している。セミナーでは参加者が視覚的に理解できるよう環境映像を取り入れたほか、フリーペーパー「ふんわり」も宮城から各支部へと広まって地域版が発行されるようになり、展示会やシンポジウムへの出展・登壇も増加した。

2 特定非営利活動に係る事業に関する事項

(1) ペレット、薪炭等の森林バイオマスエネルギーの活用推進

①木質バイオマス燃料の流通・設備導入支援

■ペレットストーブの普及

24時間テレビチャリティー委員会の助成事業として、東日本大震災被災地の下記12施設にペレットストーブ計23台の寄贈を行った。

震災後に再建された施設や被災者支援を行う拠点の多くは資金不足から暖房に困っていることが多いため、ストーブ本体および1シーズン分の燃料を無償寄贈し、大変感謝された。

施設・団体名	地域	備考
企業組合ビホロ	宮城県牡鹿郡女川町	1月21日設置
神割崎キャンプ場	宮城県本吉郡南三陸町	1月22日設置
うみねこハウス	宮城県牡鹿郡女川町	1月23日設置
石巻工房	宮城県石巻市	1月23日設置
リオグランデ	宮城県石巻市	1月31日設置
公益財団シャンティ国際ボランティア会	宮城県気仙沼市	2月26日設置
蛤浜プロジェクト	宮城県石巻市	3月31日設置
ひなたぼっこ石巻	宮城県石巻市	4月4日設置
くりこま高原自然学校	宮城県栗原市	5月15日設置
前浜コミュニティセンター	宮城県気仙沼市	8月21日設置
森の漁り火工房	宮城県気仙沼市	8月26日設置
ワタママ食堂	宮城県石巻市	8月28日設置



ワタママ食堂



企業組合ビホロ



リオグランデ

また一般販売としてペレットストーブ2台、ペレットグリルヒーターきりんさん2台を販売した。

■木質ペレット燃料の販売

昨年度は宮城、岩手、山形のペレット燃料を仕入れて販売を行ったが、今年度より自社で宮城県産ペレットを袋詰めし、「みちのくの森ペレット」として10kg入り1袋600円（税込）にて販売を開始した。



■着火剤の商品開発

手のひらに太陽の家プロジェクトのチャリティ商品として、国産スギ材と廃ロウソクから作られる着火剤「木っと着火」の商品開発を行い、試作品の販売を行った。2014年には正式に商品化される予定となっている。



②J-VER制度を利用した排出権取引

「ペレット燃料普及による栗駒山麓森林資源活用プロジェクト」として新たに7 t、また「宮城県栗駒木材による木質ペレットボイラーでの温室効果ガス排出削減事業」として6.7 tのオフセット・クレジットを発行した。そのうちプロバイダーを通じて5 tを販売した。

さらに、新たなプロジェクトとして「宮城県登米市 復興共生住宅における木質バイオマス燃料利用による温室効果ガス排出削減プロジェクト～手のひらに太陽の家をモデルにした循環型の地域づくり～」の登録申請を行い、10月10日に登録完了した。

③その他

2013年1月に設立された宮城県登米市環境市民会議の木質バイオマス利活用プロジェクトチームに参画し、研修会や視察見学等に参加したほか、登米市での木質バイオマス利用へ向けた提言作成に協力している。

またペレットや山林関係事業に関する問い合わせも増えており、登米市の社会福祉法人はんとく苑や山梨県の栗井英朗環境財団などの視察対応を行った。



岩手県紫波町視察の様子（11月）

(2) 建築、木工等の材木の活用推進

組手仕の販売事業

組み立て式木工キット・組手仕（くでじゅう）の販売を継続して行った。今年度より20本セットでの販売に切り替え、オンライン注文の受け付けも開始したところ順調に売り上げは伸びており、年間150セット（3000本）を超える販売となった。

個人宅利用のほか展示用での利用も人気で、12月に東京で開催されたエコプロダクツ展では組手仕おかげまわし協議会のメンバーと協力して森林関連団体のコーナー全体を組手仕で木装し、来場者の関心を集めた。



エコプロダクツ展の様子（12月）

(3) 森林をテーマとした環境教育の推進

①手のひらに太陽の家プロジェクト

昨年より継続して、放射能への不安を抱えながら生活している福島の子の保養滞在を中心に受け入れ、年間合計132家族483名の利用があった。

運営に当たっては昨年度に引き続き登米市緊急雇用対策事業を受託し、被災者の雇用と自然体験・交流事業のOJT・OFF-JTを実施した。また赤い羽根ボランティアサポート基金、LUSHチャリティバンクの助成事業として様々な自然体験・交流事業を実施した。

将来へ向けた事業化として手作り石けん、ネイチャークラフトなどのチャリティーグッズの販売や自然施設見学ツアーの受け入れなどを行った。

また夏には株式会社コーサー様やNPO法人自然環境復元協会、地域住民やボランティアらの協力のもと庭のビオトープの作成が実現し、環境教育の場としての機能が向上した。



キャンプ活動の様子（7月）



ビオトープ入水式（8月）

②普及啓発活動（講座の開催、展示会等への出展）

森林環境や森林資源の活用について広く一般市民に呼びかけるために、講座等の開催および展示会等での活動紹介に取り組んだ。

形態	日時	事業名	会場	内容
参加	1月12日（土）	「東北の地から全国に発信する 森と子ども達とのいい関係」シンポジウム	せんだいメディアテーク（宮城県仙台市）	ニッセイ緑の財団主催のシンポジウムにて、ブース出展および事例紹介。
参加	1月16日（水）	東北・木質バイオマスシンポジウム2013	岩手大学（岩手県盛岡市）	NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク主催のシンポジウムにてパネラーとして登壇。
参加	2月9日（土） 2月23日（土）	森林環境教育と”暮らし”～地域での実践（持続可能な暮らしと森の恵み）～	新宿NSビル（東京都新宿）・新大阪丸ビル新館（大阪府大阪市）	ニッセイ緑の財団主催の講座にて、パネラーとして登壇。
共催	2月16日（土）	「内部被ばくを生き抜く」上映会	栗原市市民活動支援センター（宮城県栗原市）	エネシフみやぎ、トラノスケとの共催。内部被ばくに関するドキュメンタリーの上映および手のひらに太陽の家プロジェクトの紹介。19名参加。
協力	3月22日（金） ～24日（日）	アース・ビジョン地球環境映像祭20+1	水の里ホール（宮城県登米市）	3日間に渡り世界から集められた環境映像の上映や関連したセ

				ミナー・シンポジウムを開催。アース・ビジョン実行委員会の実行委員として参画した。
共催	3月31日(日)	親子で楽しむ薪づくり体験会in仙台	仙台市泉区	サスティナライフ森の家、NPO法人しんりんとの共催で親子向けの薪割体験イベントを実施。20名参加。
参加	4月6日(土)～7日(日)	モンベルクラブフレンドフェア in 横浜	パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)	モンベル会員向けのイベントにてブース出展およびトークによる活動紹介。
参加	4月13日(土)～14日(日)	モンベルクラブフレンドフェア in 大阪	インテックス大阪(大阪府大阪市)	モンベル会員向けのイベントにてブース出展およびトークによる活動紹介。
参加	4月20日(土)～21日(日)	アースデーいのちの森	明治神宮(東京都渋谷区)	NPO法人響主催の明治神宮内で行われた環境イベントにてパネル展示および活動紹介を行った。
後援	4月21日(日)	心が豊かになる暮らしづくりセミナー	仙台青年文化センター(宮城県仙台市)	田中優氏を講師に招き、再生可能エネルギーをテーマに講演いただいた。20組33名参加。
参加	5月12日(土)～13日(日)	菜の花フォーラム	パレットおおさき多目的ホール(宮城県大崎市)	ワーカーズコープ主催の菜の花フォーラムにてパネラーとして登壇。
共催	5月24日(金)～26日(日)	田中優さんと行く!皮むき間伐&植林ツアーin東北	エコラの森(宮城県大崎市)	天然住宅バンクとの共催で、大崎市エコラの森での皮むき間伐体験ツアーを実施。のべ17名参加。
参加	6月15日(土)～16日(日)	モンベルクラブフレンドフェア in 仙台	サンフェスタ(宮城県仙台市)	モンベル会員向けのイベントにてブース出展およびトークによる活動紹介。
共催	6月16日(日)	「よみがえりのレシピ」上映会 & 「自然な住まいと暮らしのレシピ」講演会	せんだいメディアアテック(宮城県仙台市)	アース・ビジョン実行委員会との共催で、食についての映像上映と自然素材建築についてのセミナーを実施。45名参加。
共催	8月4日(日)	さあのはらへいこう 上映会	のびすく泉中央(宮城県仙台市)	アース・ビジョン実行委員会との共催で、自然保育をテーマにした環境映像を上映。また仙台近辺で子育て

				に取り組む団体の活動紹介。69名参加。
参加	10月12日(土)～13日(日)	モンベルクラブフレンドフェア in 幕張	幕張メッセ(千葉県千葉市)	モンベル会員向けのイベントにてブース出展およびトークによる活動紹介。
参加	11月2日(土)～3日(日)	モンベルクラブフレンドフェア in 大阪	インテックス大阪(大阪府大阪市)	モンベル会員向けのイベントにてブース出展およびトークによる活動紹介。
共催	11月4日(月)	木質ペレットふれあいフェスタ in みやぎ	WILD-1 仙台泉店(宮城県仙台市)	宮城県内のペレット関連事業者と共催で、ペレットストーブの燃焼実演やセミナーなどの普及イベントを実施。
参加	11月6日(水)～8日(金)	日本木工機械展	ポートメッセ名古屋(愛知県名古屋市)	組手什おかげまわし協議会と協働でブース出展。
参加	11月14日(木)	京都丹波地域木質バイオマスシンポジウム	南丹市国際交流会館(京都府南丹市)	京都府主催のシンポジウムにて基調講演およびパネラーとして登壇。
参加	12月12日(木)～14日(土)	エコプロダクツ2013	東京ビッグサイト(東京都江東区)	日本最大規模の環境展示会にてブース出展。
共催	12月8日(日)	持続可能な暮らしづくりセミナー	仙台市青年文化センター(宮城県仙台市)	サスティナライフ森の家と共催し、田中優氏を招き、放射能と再生可能エネルギーについてのセミナーを講演頂いた。参加者36名。
共催	12月21日(土)～23日(月)	田中優と行く！伐採ツアー in 栗駒	エコラの森(宮城県大崎市)	天然住宅バンクと共催し、エコラの森で伐採や薪割、石窯ピザ作りといった体験活動を行うツアーを実施。15名参加。

③森の学校

持続可能な森林管理の担い手育成と被災地での林業雇用創造を目的としたきこり講座や研修会を実施した。今年度より提携団体のNPO法人しんりんが設立されたため、林業関連事業の主体はそちらに移管し、日本の森バイオマスネットワークは事業をサポートする形を取っている。

日時	会場	内容
7月6日（土）～7日（日）	青森県三沢市	軽架線を使った木材搬出の実習。NPO法人青森バイオマスエネルギー推進協議会主催、28名参加。
7月13日（土）～14日（日）	宮城県石巻市 観音寺	チェンソー講座。講師は安部拓氏。約10名参加。
8月24日～25日	宮城県石巻市 観音寺	軽架線を使った搬出の実習。約10名参加。
9月14日（土）	宮城県大崎市	製材工場および木造住宅の見学会。6名参加。
9月21日～22日	宮城県石巻市 観音寺	作業道づくりの実習。講師は橋本光治氏。約10名参加。
10月19日（土）～20日（日）	青森県三沢市	軽架線を使った木材搬出の実習。NPO法人青森バイオマスエネルギー推進協議会主催、21名参加。
11月9日（土）～10日（日）	宮城県大崎市 エコラの森	バックホーの特別講習会。5名参加。
12月14日～15日	宮城県石巻市 観音寺	作業道づくりのフォローアップ実習。講師は橋本光治氏。約10名参加。



石巻市での搬出実習（8月）



石巻市での作業道実習（12月）

④山への恩返し 植林事業

■山への恩返し 春の植林事業

5月25日（土）に宮城県大崎市エコラの森にて毎年定例の植林活動「山への恩返し」を実施した。活動にはのべ36名が参加し、ヒノキの苗1000本を植林した。



植林作業の様子

■いのちの森プロジェクト

昨年に引き続き、10月26日（土）～27日（日）に明治神宮で活動するNPO法人響が取り組んでいる緑化活動「いのちの森プロジェクト」の受け入れを行った。

宮城県大崎市エコラの森にて、昨年植林した苗木の手入れや補植をしたほか、被災地の支援として宮城県石巻市の観音寺やNPO法人スマイルシードへ苗木約200本を提供した。東京から6名のボランティアが参加した。



苗木の手入れの様子



被災地に寄贈された苗木

⑤CSR活動の受け入れ

●Green with Team NTT ～緑の真珠 海岸林再生プロジェクト～

NTTグループの社会貢献活動として、東日本大震災による津波・山火事で甚大な被害を受けた気仙沼大島における海岸林の再生活動のコーディネートと受け入れを行った。

日時	内容
3月9日（土） ～10日（日）	大島神社所有の6,600平米の土地に、約1000本の広葉樹林を植林した。また被災地を回り、震災による被害と復興の現状について見学を行った。NTTグループのボランティアとして、日帰り参加33名、宿泊参加69名。
8月3日（土） ～4日（日）	3月に植林を行った場所で、夏の下草刈り作業および海岸の清掃活動を実施した。夏休み期間中でお子様の参加もあったため、大島島内での自然体験・環境教育プログラムも実施した。NTTグループより、日帰り参加20名、宿泊36名。
10月12日（土） ～13日（日）	秋の下草刈り活動および次年度の植林活動予定地の視察を行った。NTTグループより7名参加。



植林活動の様子（3月）



下草刈り作業および海岸清掃の様子（8月）

●セブン-イレブンの森 宮城

セブン&iグループの社会貢献活動として、宮城県大崎市にて「セブン-イレブンの森」として協定を結んだ5haの森林について、昨年引き続き植林活動および下草刈り作業を実施した。

日時	内容
7月上旬	昨年植林したエリア（1ha）の下草刈り作業を実施した。NPO法人しんりんに業務委託。
9月23日（日）	植林活動および竹林整備を予定していたが、悪天候のため延期。森林資源に関するセミナーと昨年植林した山林の見学を行った。参加者49名。
11月3日（日）	9月実施分の振替として、2000本のヒノキを植林。東北のセブン&iグループ関係者117名がボランティアとして参加。




⑥フリーペーパーの発行

昨年に引き続き自然と共生する豊かなライフスタイルを発信する季刊フリーペーパー「ふんわり」を会員団体と協力して発刊し、飲食店やショップなどに配布した。イベント情報や手のひらに太陽の家プロジェクトの紹介のほか、日本の森林環境についてのコラムや国産材を利用した木製品の紹介などを掲載した。

昨年は宮城版が中心だったが、今年度は岐阜支部、埼玉支部、神奈川支部、山梨支部でも各地域版が発行・配布された。

発刊号	発行部数	表紙イメージ
Vol. 5 (1月発行)	宮城版：10,000部 埼玉版：1,000部 岐阜版：500部 神奈川&山梨版：3,000部	
Vol. 6 (4月発行)	宮城版：7,000部 埼玉版：1,000部 岐阜版：500部 神奈川&山梨版：3,000部	
Vol. 7 (7月発行)	宮城版：10,000部 埼玉版：1,000部 岐阜版：500部 山梨版：3,000部	
Vol. 8 (10月発行)	宮城版：7,000部 埼玉版：1,000部 岐阜版：500部 山梨版：3,000部	

		 <p>The image shows the cover of a Japanese magazine titled "ふんわり" (Funwari), which translates to "softly" or "comfortably". The cover features a photograph of a person wearing a green shirt and a purple riding helmet, riding a dark brown horse in an outdoor setting. The magazine's title "ふんわり" is written in large, stylized blue characters. In the top left corner, there is a yellow banner with the text "2012.7" and "7月号". Below the title, there is a vertical line of text: "馬のふんわり" (Softness of Horses), "馬のふんわり" (Softness of Horses), "馬のふんわり" (Softness of Horses), and "馬のふんわり" (Softness of Horses). At the bottom left, there is a small vertical text: "馬のふんわり" (Softness of Horses).</p>
--	--	--